

会 議 概 要

会議の名称	第1回 第3期湧別町総合計画審議会 産業振興専門部会
開催日時	令和3年4月6日（火） 13時35分 開会 15時40分 閉会
開催場所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出席者名	委員：吉村専門部会長、小幡・佐藤・宍戸・岡和田・森・ 鈴木・三瓶各委員 策定委員：安藤課長、猪熊課長、井上課長 事務局：因課長、斉藤主幹、西海谷主幹、島田主任
欠席者名	藤井委員
傍聴人の数	無し
会議の内容	1. 開会 2. 会議成立報告 3. 部会長挨拶 4. 基本計画の審議について （1）農業 （2）林業 （3）水産業 （4）商工業 5. 次回会議日程について 6. 閉会
会議資料	第1回 第3期湧別町総合計画審議会 産業振興専門部会議案 資料1 第3期 湧別町総合計画（諮問案） 第3期 湧別町総合計画審議会追加資料 第1回第3期 湧別町総合計画審議会会議録
会議録	■ 有 （ □全文筆記 ■要点筆記 ） □ 無
備考	

1 (てん末書用紙)

てん末書

1 日時

令和3年4月6日(火) 午後1時35分から午後3時40分

2 会場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

3 会議及び用務

第1回 第3期湧別町総合計画審議会 産業振興専門部会

4 出席者

委員

吉村専門部会長、小幡・佐藤・宍戸・岡和田・森・鈴木・三瓶各委員

※欠席：藤井委員

策定委員

安藤課長、猪熊課長、井上課長

事務局

因課長、斉藤主幹、西海谷主幹、島田主任

5 結果要旨

第3期湧別町総合計画審議会における第1回目の産業振興専門部会を開催しましたので、報告いたします。

1. 開会
2. 会議成立報告
3. 部会長挨拶
4. 基本計画の審議について

吉村部会長から、会議時間(概ね2時間)及び議事進行方法(項目ごとの説明と審議)について提案し、委員からの異議なく審議に移る。

以降、諮問案の分野(農業、林業、水産業、商工業)ごとに事務局説明の後、項目(「現状と課題」、「10年後のめざす姿」、「主要施策」、「施策の評価指標」)ごとに質疑を受け、内容について審議を行った。

(1) 農業

【質疑(現状と課題)】

森委員) 農業分野において、労働者不足という問題はないのか。あるとすればその記載がない。

⇒ 安藤課長) 人手は不足しているが、労働者不足というところを新規就農者やスマート農業でカバーできないかと考えているところです。

【審議(現状と課題)】 意見無し

【質疑(10年後のめざす姿)】

小幡委員) 「酪農畜産の振興」のなかに「公共牧場等の充実により」とあるが、湧別農

2 (てん末書用紙)

協で管理している川西牧野には遺跡があるということで今後の利用はどうなるのか。また、東牧野については海岸浸食の問題がある。えんゆう農協管理の牧場の利用や代替地の利用などを考えなければならないかと思うが。

⇒ 安藤課長) 川西牧野については、牧野としての利用ももちろんのこと、貴重な遺跡群についても後世に残していきたいと考えている。教育委員会と共存できるすべがないか協議中である。また、東牧野の海岸浸食については、東2線から東10線の間を月に一度農政課職員が点検を行っており、浸食部分があれば随時国や道に保全を要請しているところ。

【審議 (10年後のめざす姿)】 意見無し

【質疑 (主要施策)】

森委員) 「酪農畜産の振興」の「バイオガスプラントの整備を～『自然』に優しい農業を推進します」という表現があるが、『環境』に優しい」という表現の方が良いのではないか。

⇒ 安藤課長) 悪臭対策という目的も含んでいることから『環境』という表現に代えさせていただきたい。

岡和田委員) 「農業経営の充実」で新規就農者確保や後継者育成とあるが、2019年にえんゆう農協が55歳以上の経営者を対象に行ったアンケートによると、後継者が確定していないとの答えが55%あった。10年後では、農家戸数が大幅に減る恐れがあることから、5年後を目安に対策を立てるといったことを計画に盛り込んでほしい。

⇒ 安藤課長) 農業振興協議会でもパートナー対策を行っているが人が集まらないという現実もあるが、引き続き推進していきたい。農家戸数の減少対策としては、法人化や大規模化それに伴う労働力不足に関しては、スマート農業による機械化や区画整備による効率化でカバーしていければと思う。課題に対する個別の施策については、振興協議会で進めていきたいと考えている。

岡和田委員) 後継者対策として所得の安定や農家のゆとり確保を目指していかなければ後継者は減るだけ。後継者が育たないということは、後継者となりえる子どもが農業に魅力を感じていないということで、この部分を解消しないことには農家戸数は減る一方かなと思う。

⇒ 安藤課長) 青年部などとも話しをしながら、どういったことが魅力あることなのかということを検討させていただきたいと思う。湧別町農協の酪農部門においては、今年2件が研修を終え新規就農をしている、または新規就農をすところであり、今年1件研修を希望している方いることから、決して農業に魅力がないということはないので、魅力発信に努めたい。

佐藤委員) 問題はいかに外から人を呼び込むかだと思う。農業は基本的には家族経営、新規就農支援を手厚くし、家族経営を維持できる政策を考えなければならないと思う。

3 (てん末書用紙)

⇒ 安藤課長) 農家の減少対策として、法人化や大規模化の話をしたところで、家族経営を否定しているわけではない。家族経営者がいなければ新規就農もできない。すべての農家を大規模化するという表現ではないことをご理解いただきたい。手厚い支援の検討や魅力発信に努めたい。

岡和田委員) 「畑作の振興」の中で「高収益作物の作付け奨励」とあるが、農家戸数の減少により、一戸当たりの経営面積が増えれば増えるほど、手間がかかる高収益作物の栽培に手が付けられず、取り入れることは難しい。高収益作物の生産を目指さなくても、現状の経営維持と所得の安定が図れば良いのではないか。えんゆう農協の畑作は家族経営がほとんどで手間のかかることはやらないし、販路の確保や安定出荷には10年はかかる。

⇒ 安藤課長) 労働力不足の部分に関しては、移動通信システムの利用により機械化で労働負担を軽減し、余った労働力で経営面積を増やせないかと考えている。現状、本町で生産されている作物に対応した機械が開発されていないということもあるので、今後を注視し、経営面積の維持を行っていききたい。

岡和田委員) 「農業経営の充実」の中で「ICTを活用～調査研究を推進します」とあるが、すでにドローンや自動操舵が実用化されており、調査研究段階ではないと思う。

⇒ 安藤課長) 現在利用されている回線が4G、これから普及するであろう5Gは通信速度・容量が格段に早く大きく、この調査研究が必要であろうと考えている。

森委員) 研究が必要なものもあるし、すでに実用化できるものもあるのであれば、「調査研究並びに実用化を推進します」という表現にすればいいのではないかとと思う。

⇒ 安藤課長) そのように感じますので、表現の内容について次回までに検討させていただきたい。

岡和田委員) 実用化されているが高価で導入が難しいという問題を解決できないか。

⇒ 安藤課長) そういった課題についても、農業振興協議会で検討させていただきたい。既存の支援事業についても、対象の緩和など国や道に対して要望してきたいと考えている。

【審議 (主要施策)】 意見無し

【質疑 (施策の評価指標)】

森委員) 評価指標の現状値については、どこから引用した数値なのか。

⇒ 事務局) 令和2年4月に実施した町民アンケートの結果から引用したもの。

【審議 (施策の評価指標)】 意見無し

(2) 林業

【質疑及び審議 (現状と課題)】 質疑及び意見無し

4 (てん末書用紙)

【質疑及び審議 (10年後のめざす姿)】 質疑及び意見無し

【質疑及び審議 (主要施策)】 質疑及び意見無し

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見無し

(3) 水産業

【質疑 (現状と課題)】

森委員) 湧別漁業協同組合として、課題に挙げていたのは湧別川の整備・対策。平成28年に大雨により湧別川からオホーツク海に流れ込んだ泥流によって1万トンのホタテが斃死しており、また、湧別川のサケ・マス孵化施設流失も度々起こる。湧別の基幹漁業はホタテとサケ・マス、湧別川の安定がなければ、湧別の基幹漁業は常に不安定であることから、漁場を守るための湧別川の整備について付け加えていただきたい。

⇒ 井上課長) 大きな問題ですので、次回までに現状と課題の中に落とし込み修正させていただきたい。

森委員) 中段 (下から11行目) の「つくり育てる漁業として、サロマ湖における『サケ・マス』の孵化事業など・・・」の『サケ・マス』の前に「湧別川における」という形容詞を付けたほうが、誤解を回避できると思う。

⇒ 井上課長) そのように修正する。

【審議 (現状と課題)】 意見無し

【質疑 (10年後のめざす姿)】

小幡委員) 「生産基盤整備」の中の「ICTやロボット技術」にはどのようなものがあるのか。

⇒ 井上課長) ICTについては、これからの施策として掲載しており、ロボット技術に関しては、ホタテの貝剥きにロボット技術を活用している。

※森委員から湧別漁業協同組合が取り組むICTに関して補足説明あり。

佐藤委員) 湧別漁業協同組合が取り組む北海シマエビなどの資源調査などに対して、行政として支援を行っているのか。行政としても力を入れていくうえで、基幹産業を守っていくということを文面に加えることが必要ではないか。

⇒ 井上課長) 計画に盛り込むよう次回までに整理させていただきたい。

【審議 (10年後のめざす姿)】 意見無し

【質疑 (主要施策)】

岡和田委員) 「増養殖事業の推進」で「バイオガスプラント整備による消化液の活用実験」とあるが、どういう内容か。

⇒ 安藤課長) ガス生成の際に発生する消化液がサロマ湖に自生するアマモの肥料に期待できるということから、湧別漁業協同組合とサロマ湖養殖組合に提案したもの。湖内環境の改善に寄与できればと考えている。

5 (てん末書用紙)

【審議 (主要施策)】 意見無し

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見無し

(4) 商工業

【質疑 (現状と課題)】 質疑無し

【審議 (現状と課題)】 意見無し

【質疑 (10年後のめざす姿)】 質疑無し

【審議 (10年後のめざす姿)】

森委員) 水産加工業を考えた時に、「工業の発展」の「先進技術の導入や効率化」について、どのようなイメージをしているか。具体的なものはあるか。

⇒ 猪熊課長) 今年度から取り組む補助事業になりますが、具体的に話があるのがホタテ加工業者の規模拡大・機械導入、また、暗渠の継手製造にかかる新機械の導入について、町の支援により推進している状況。

森委員) 機械導入の根には、人手不足があると思う。水産加工においては、従業員の高齢化や労働人口不足が顕著で、町内でも多くの外国人技能実習生や人材派遣の力を借りて成り立っているという現状がある中で、これに対する施策は考えないのか。将来的には外国人実習生が行先を選ぶ時代が来ると思う。紋別市の取組は素晴らしいと思うので、居住環境などの支援が必要であると思う。ニーズはあると思うので、各事業所などに一度問いかけを行ってほしい。

⇒ 猪熊課長) 加工組合から町に対する要望はない状況。そういった声が聞こえたら聞かせていただきたい。

【質疑及び審議 (主要施策)】 質疑及び意見無し

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見無し

※予定していた計画審議について終了。

5. 次回会議の日程について

事務局から次回会議の日程について提案。森委員から職場理事会のため出席できない申し出もあるも、他の委員から異議がなかったため、次の日程で開催を決定。

第2回産業振興専門部会開催日時：令和3年4月19日(月) 午後1時30分

〃 開催場所：上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

6. 閉会